

<ゴルフ同好会:小林弘委員長>

春爛漫...ゴルフシーズン到来となりました。  
 一年ぶりに同好会のゴルフコンペを開催致します。  
 5月22日には、松戸市内の5クラブの親睦ゴルフコンペが開催  
 されます。  
 その練習も兼ねて下記の通りゴルフを行いたいと思います。  
 多数ご参加くださいますようお願いいたします。

日 時 2013年5月1日(水) 9:00~  
 場 所 藤ヶ谷カントリークラブ  
 料 金 16,500円(キャディー代含む)  
 ※パーティー及び商品代は同好会より支出

※ びわ亭にて19時よりパーティーを行いますので、ゴルフコンペ  
 欠席の方にも、ぜひご出席いただきたいと思ひます どうぞよろ  
 しくお願い申し上げます。



参加することに意義がある!



<ロータリーによるアンケート調査の最新情報 2013年2月>

- ① 調査の結果、ロータリアンやローターアクターの入会動機および会員であり続ける理由の上  
 位2つの項目が明らかになりました。1つは「地元での奉仕活動」、2つ目は「友情と親睦」で  
 す。これら2つの項目は、どの年齢層の回答者も理由として挙げたものでした。
- ② 地区のリーダー(ガバナーや委員長など)のほとんど(90%)が、未来の夢計画を支持している  
 ことが分かりました。
- ③ 戦略計画があるクラブは、戦略計画がないクラブと比較して、会員勧誘や維持、ソーシャルメ  
 ディアの使用、好意的な公共イメージの維持といった分野で進展あったことが報告されました。  
 このことから、戦略計画の立案はクラブの活動に大きな影響を与えることが分かります。
- ④ 新世代の参加者は、将来ロータリーへの入会に関心があることが分かりました(回答者の80%  
 が入会に関心があると回答)。
- ⑤ 2011-14年度試験的プログラム(準会員、法人会員、革新性と柔軟性のあるロータリー・クラ  
 ブ、衛星クラブ)に参加しているクラブは、2011-12年度に会員増強を達成したことが  
 (試験的プログラムが開始される前の2010-11年度と比較して)。また、これらのクラブによる会  
 員増加率は、2011-12年度のロータリー全体の増加率よりもはるかに高いことも分かりました。

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■



己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝す  
 るとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にと  
 どめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。

社会奉仕基金 2,445円 《会報編集委員》織田 証・大川隆永・瀧上啓太・小林辰幸

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1959回 例会 2013年3月26日(火)

- |                |       |           |                                       |
|----------------|-------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長     | 田中 作治 | ■例会日      | 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)               |
| ■第2790地区ガバナー   | 得居 仁  | ■例会場      | 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F                  |
| ■第12分区ガバナー補佐   | 川上 伸夫 | ■事務所      | 松戸市根木内249-7 榊山安 内                     |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 長島 正巳 | ■TEL/FAX  | 047-344-5696 / 047-344-5696           |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |



## WEEKLY REPORT

### <第1959回:例会プログラム 進行:並木幸雄>

- 12:30 点鐘  
ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」  
お客様紹介 びわ亭 支配人 根本様
- 12:35 会食
- 13:00 会長挨拶及び報告 長島正巳 会長
- 13:05 次年度に向けて 児山守治会長エレクト
- 13:15 次年度ロータリー情報・職業分類委員会 鈴木悦朗 委員長
- 13:20 (社会奉仕基金BOX)社会奉仕委員会 家田真人 委員
- 13:25 ゴルフ同好会 小林弘 委員長
- 13:30 点鐘



### <会長挨拶:長島正巳>

花の見頃も今週いっぱいのもので、一雨一雨暖かく成る様な気がします。

3月というと卒業式。すでに殆どの学校では卒業式が終り、新しい生活の準備に入っている事と思います。皆さんの中にも、お子さんやお孫さんが新しい生活に入って行かれる方の居るのではないのでしょうか、4月になるとあちらこちらで黄色い帽子をかぶった、新一年生の可愛い姿が見受けられるようになると、なんだかウキウキした気分になる気がします。寒い冬ともお別れです、ゴルフに山歩きに外に出る事が楽しい季節になります。私達も健康に留意して、春を楽しみましょう。



さて、ロータリー年度も終盤に入り、2790地区だけでなく、殆どの地区で大きなイベントが終了し、淡々と次年度に向けての作業が開始されるようになりました。その中で、私達2790地区12分区では、近年奉仕活動として、振わなくなって来ている献血について、会長・幹事会で話題として取り上げ、献血運動を再開したいと考えております。

当クラブも諸事情があり、献血運動そのものを中止している状態ですが、今なら何が出来るのか検討した結果、松戸5クラブ全体ですぐに出来る事とし、献血ポスターを各会員の事業所に掲示して頂く、草の根的な活動を再開する事を予定しました。時期に付きましたは、まだ決定しておりませんが、この企画がスタートしましたら、松戸北クラブでもポスターの掲示にご協力願いたいと思っております。

本日は高橋幹事が、仮欠席ですので、幹事に変わり報告をさせていただきます。

◎ 4月のロータリーレートは 1ドル・・・94円です。



#### ■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシエルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

## WEEKLY REPORT

### <次年度に向けて:児山守治会長エレクト>

最初に次年度今年7月から当クラブより渡辺敏弘ガバナー補佐が誕生します。ホストクラブとして1年間バックアップしてまいります。皆様ご協力宜しくお願いします。

次年度に向けての運営のアウトラインを申し述べます。

1ヶ月毎の予定としまして、第1週目は諸事お祝い。第2週目は外部からの卓話を考えております。年間12名程度。多方面からの卓話を現在交渉中です。第3週目はロータリー関係及び当クラブ内からの卓話。第4週目はクラブ協議会(勉強会)ロータリーのQ&Aとか。

またロータリーの綱領。ロータリーにまつわる用語の学習。例えば社会奉仕と職業奉仕の違い等の勉強会を10回程度考えております。

それからロータリアンの資質道徳水準の向上を目指してまいります。

またロータリアン同志の親睦に関する件ですが飲食を共にする親睦はごく一般的ですが私の思いは生業を共に共有してクラブ内での生業を活発に行い1回でも多くクラブ内同志の取引が出来ることを目標にしたいと思います。

会員充填職業分類を見ますと当クラブは30業種ほど従事しております。業種が足りなければ他クラブと共有する。この様にすることによって他クラブとの交流を頻繁に行い行き来ができます。他クラブも身近に感じられる事と思います。良い絆造りが出来ると確信いたします。

又各会員共協力して委員会活動を充実させていきたいと思っております。以上のような考えを実行していきたいと願っております。

どうぞ皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。尚詳細につきましては会長就任の所信表明の時に具体的に申し上げたいと思っております。今後とも宜しくお願いします。

以上



### <次年度ロータリー情報・職業分類委員会:鈴木悦朗委員長>

7月より「The Object of Rotary(ロータリーの綱領)」の日本語訳が「ロータリーの目的」と改訂されます。「The Object of Rotary」として英語表記は従来そのままですが、日本語訳は「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」と変わり、内容も現代的な表現に変わります。

この「ロータリーの目的」と「RI戦略計画の理念」である「本質」(ビジョン)、「使命」、「中核的価値観」との関連については、ロータリーの「友」1月号 19ページ(「ロータリーの目的」と「RI戦略計画の理念」)に掲載されていますので、皆様、是非ご覧ください。



#### ■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA)■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。